

# 2024年度 事業計画書

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

# 2024 年度 事業計画

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

## 1. 協会活動方針

2024 年度の協会活動方針は、以下の通りとする。

- (1) 会員企業ならびに出展企業の事業拡大の一助となるサービスの向上に努めるとともに、事務局の運営は、業務の効率化、合理化とともに、法人の継続的な運営維持を図る。
- (2) 当協会は、「CEATEC」、「Inter BEE」の維持と発展を目的とし、主催者との連携をさらに強化するとともに、出展企業のビジネス機会の創出への貢献をも目指す。同時に、リソースを最大限に活用できるよう選択と集中を図りながら、企画、運営に努める。さらには、Society 5.0 を基軸に、業界団体が主催する持続可能な国際ビジネス展示会の実現を目指す。
- (3) 「CEATEC」は、本年の開催で 25 回目を迎えるため、より一層、主催者との連携を強化し、Society 5.0 の具現化を目指す展示会として、政府・産業団体等との連携をさらに深めながら、日本の成長戦略や未来社会の姿、また、各種の社会課題への提案を世界に向けて発信する。さらに、25 周年の企画展示およびコンファレンス等の新たな取り組みを強化する。
- (4) 「Inter BEE」は、本年の開催で 60 回目を迎えるため、主催者の方針とともに連携をさらに強化し、「メディア総合イベント」への発展を目指す。60 周年企画事業および各種の新たな取り組みも加速させる。

## 2. 協会運営事業

総会、理事会、運営役員会等を次の通り開催し、当協会の運営に関する重要事項を審議し、各種事業を円滑に実施する。

- (1) 通常総会
  - ・第 22 回通常総会： 2024 年 6 月 3 日（月）
- (2) 理事会
  - ・第 67 回理事会： 2024 年 5 月 16 日（木）
  - ・第 68 回理事会： 2024 年 6 月 3 日（月）
  - ・第 69 回理事会： 2024 年 11 月 18 日（月）
  - ・第 70 回理事会： 2025 年 3 月 27 日（木）
- (3) 運営役員会
  - 理事会への対応を始め、当協会の重要案件審議のため適時開催とする。

### 3. 展示会事業

#### 3-1 「CEATEC 2024」

(1) 25 回目の CEATEC となる「CEATEC 2024」を、幕張メッセ(千葉市美浜区)にて 10 月 15 日(火)～18 日(金)の 4 日間開催する。

##### ① 開催基本方針

経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く場とし、「デジタルイノベーションの総合展」として開催する。

##### ② 出展部門・構成

###### <General Exhibits (通常出展)>

Society 5.0 の実現に向け、AI が導入された未来を見据えたテクノロジー、電子部品・デバイス、ソリューションやサービス全般のエリア。

###### <Special Exhibits (企画出展)>

###### 「パートナーズパーク」

独自テーマを設定し、あらゆる産業・業種のパートナーとともに Society 5.0 の未来社会を体現する「共創」エリア。

###### 「ネクストジェネレーションパーク」

次世代を担う新進気鋭の企業や教育機関がテクノロジーと研究成果を披露するエリア。

###### 「グローバルパーク」

世界各国/地域からの最先端技術、革新的なソリューションを発信する、パビリオンなどを複合的に展開するエリア。

##### ③ 開催のポイント

- ・ 25 周年を迎える 2024 年は、CEATEC 2024 のテーマを「Innovation for All」とし、25 周年の特別テーマとして「AI for All」を掲げて、特別企画などを計画する。
- ・ 開催初日の 10 月 15 日(火)の午前中にプレミアムタイムを導入し、各出展者の招待者や VIP、報道関係者の見学時間を新たに設定する。
- ・ 政府および経営幹部等の交流の場として、オープニングレセプションを開催初日の 10 月 15 日(火)に開催する。

##### ④ コンファレンス

CEATEC の目指す姿を発信すべく、政府と産業界による連携や業界をリードするキーパーソンの講演、最新のテクノロジーや Society 5.0 の実現に向けた取り組みに関するセッションなど、主催/共催団体や出展者が主体となり、講演会を実施する。

##### ⑤ 海外出展者/海外来場者/海外プレスの誘致

各国在日大使館、各国業界団体、政府広報機関、海外パートナーと連携し、グローバルパークの企画を軸に告知活動と来場誘致を実施する。また、グローバルパークの出展とあわせ、各国の在日大使館や業界団体を通じ海外メディアを対象に、取材の誘致を行う。

(2) 「CEATEC 2024 実行委員会」を年間 7 回開催する。実行委員会では出展企画および展示会運営等、開催に必要な施策を立案、実行に向けて審議を行う。また、必要に応じて実行委員会の傘下

に課題検討 WG を設置し、各種の課題解決に向け出展者と委員会の両視点からの意見交換と議論を行い、実行委員会に提言する。

### 3-2 「Inter BEE 2024」

(1) 60 回目の開催となる「Inter BEE 2024」を、幕張メッセ（千葉市美浜区）にて11月13日（水）～15日（金）の3日間開催する。

#### ① 開催基本方針

メディア&エンターテインメント産業における「Society 5.0」の実現において新たなビジネスモデルやサービスの創出を通じて、社会の発展に貢献する。また、関連産業との連携をさらに強化し最前線で最新情報を発信、体験と対話の場の活性化、ビジネス機会獲得の場を提供し、メディアとエンターテインメントの総合イベントとしてその確立を目指す。

本年は60回目の節目の開催となることから、これからの10年に向けて、継続し発展していくことを目指し新たな事業にも取り組む。

#### ② 出展部門・構成

「プロオーディオ部門」

サウンドシステム・オーディオ機器等の音創りのための国内最大のプロユース音響ビジネスイベント。

「映像制作/放送関連機材部門」

コンテンツ映像制作と放送の技術革新や最新のトレンドを提案、体験できるビジネス空間。

「エンターテインメント/ライティング部門」

拡張するメディアやコンテンツ表現の先端技術で新たなエンターテインメントの可能性とビジネスを発信。

「メディア・ソリューション部門」

メディアとネットワークの融合は、革新的なコミュニケーションテクノロジーやソリューションを生み出し、新たなビジネスを提案。

#### ③ 特別企画

「INTER BEE EXPERIENCE」

音のプロフェッショナルが集まる体験型イベントとして、スピーカー試聴体験とヘッドフォン、マイクロフォン試聴体験を提供する。

「INTER BEE BORDERLESS」

放送と通信の融合が現実化したことによる、多様なビジネスの可能性の提案と新たな進化に向けた新規取り組みやさらなる課題が発見できる場として展開する。

「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」

劇的な変化を遂げる AI 技術や先端コンテンツ技術、先進映像技術を発信し、メディア・エンターテインメント産業の未来と可能性を追求し発信する。昨年新設したスタートアップエリアは、本年より大学研究室等も出展に含めるため、「スタートアップ&ユニバーシティエリア」として展開する。

「INTER BEE DX×IP PAVILION」

IP の活用の最終目的は「コンテンツ制作の DX」であると考え、5 年先を見据えた取り組みへ

と進化させるべく名称を変更し、より効果的で革新的なコンテンツ制作を提案する場を提供する。

「INTER BEE CREATIVE」

映像制作のプロフェッショナルに向けた最新制作ツールと活用テクニックの提案、動画マーケティング分野に特化した制作会社やクリエイターとマーケッターや広報担当者が交流できる出会いの場も提供する。

「INTER BEE CINEMA」

エンターテインメント産業分野強化の一環としてハイエンド映像コンテンツである「シネマ」に特化した特別企画を新規に立ち上げ、機材メーカーとエキスパートユーザーとの交流やビジネス機会の創出、次代を担う人材に向けた発信等、映画産業の発展・活性化の場を提供する。

「INTER BEE AWARD」

メディア&エンターテインメント産業分野の活性化と同分野における技術の進捗や多様な創造活動の発展のため、Inter BEE に展示され応募された出展製品を対象に表彰し内外に発表するものとして開催 60 回を機に実施する。

(2) コンファレンス

メディア・エンターテインメント業界のエキスパートが業界の最新技術動向や新しい発想を提案する多彩なセッションやテーマを絞った内容の濃いディスカッションを展開する。

INTER BEE FORUM 基調講演／特別講演／出展者セミナー

- (3) 「Inter BEE 2024 実行委員会」を年間 6 回開催する。B to B 展示会として、役割、機能強化を実現・推進する。各特別企画の推進をタスクとしてグループ化し、情報共有と各企画間との連携、さらには民放技術報告会との連携を図るための組織とする。

#### **4. 国際連携活動**

当協会が運営する展示会の国際化の促進を図るため、海外関連展示会の主催団体等とプロモーション活動、プレスコンファレンス、出展誘致、来場者誘致などの相互協力を行うとともに、各展示会の情報収集活動を行う。

※対象海外展示会：CES、IFA、NAB、IBC、Viva Technology ほか

以 上